



# さくらたより

令和5年度 学校だより  
NO. 20  
令和5年11月27日発行  
山形市立桜田小学校

## 「いじめアンケート」と「子どもたちからの聞き取り」から

11月、今年度2回目のアンケートを行いました。ご協力ありがとうございました。担任が時間をかけて聞き取りをしました。その聞き取りをもとに、“いじめ防止等対策会議”を持ち、実際の対応を進めています。聞き取りから見えてきたこと、現在進行中の指導等についてお知らせします。

今回、子どもたちや保護者の方々からの訴えで、話題に上った具体的な行為は様々です。詳細ではなく総括的な文言になってしまうことはお許しください（右欄）。

双方の言い分を確認し、行った側の児童にはすでに指導を済ませています。これから繰り返して指導しなければならない事案もあります。

**お互いの関係を巡る事案**は、きつく絡まった糸をていねいにはぐすような、実に根気のいるかかわりが必要であり、学校だけではなかなか解決していけないのが実情です。ご家庭のご理解・ご協力をお願いします。

**何を言っても通じない事案**は、非常にもどかしい思いです。学校では日々、「叱るべきところを逃さずに叱る」ことを重ねています。“その時”を逃さずに、どういうところが良くなかったのか、どうすれば良かったのか等を語り続けています。

なかなか改善されない（年齢が低いほどその傾向があります）実態があり、方策を変えながら対応をしています。

今後、十分な心配り・目配りをし、安心できる学級づくり、楽しい授業づくり等を、これまで以上に力を入れて行っていきます。

保護者の方から、「(うちの子は)言葉が過ぎるので、加害になっていないか気にしている。相手の親御さんに伝えるほどのことがあったら、すぐに知らせてほしい」旨の文章をいただきました。このような目線で向き合い、日々語ってくださると、子どもに「自分を振り返る力」が付き、トラブルは減っていくのだなぁと感じます。

### 暴力・言葉

- ・たたかれる
- ・蹴られる
- ・押される
- ・わざとぶつかってこられる
- ・嫌な言葉を言われる
- ・からかわれる

### “もの”を巡って

- ・ものを隠される
- ・勝手に使われる
- ・貸したものを大量に使われる  
(あまりにもひどいものは弁償してもらっています)

### お互いの関係を巡って

- ・仲間同士の外し、外され
- ・仲間同士の悪口の伝え合い
- ・お互い、やったりやられたり
- ・お互いのきつい言葉

### 何を言っても通じない

- ・「いやだ。やめて。」と言ってもやめてくれない
- ・粗暴な行為、暴言がなくならない
- ・担任を通して相手の親御さんに伝えてもらっても、改善されていない

# 学校運営協議会

## ～学校を核とした地域づくりをめざして～

令和3年度から動き出した本会です。「規約」を抜粋して紹介します。

### 山形市立桜田小学校学校 運営協議会規約 (抜粋)

#### 〈意見の申し出〉

第11条 協議会は、以下の事項について意見を述べることができる。ただし、(2)については、教育委員会規則に定めるものについてのみ、校長・教育委員会を通し、任命権者に対して意見を述べることができる。

なお、意見は個人の意見ではなく、地域住民等の代表による合議体としての意見とする。

- (1) 桜田小学校の学校運営及び教育活動について
- (2) 教職員の任用その他運用について
- (3) その他、校長が必要と認めること

11月16日(木)、第3回会議を行いました。今回は、以下について話し合いました。

◎学校の2学期以降の近況報告

(学校の行事や学年の取り組み、PTA活動の実施状況、施設整備状況)

◎教育委員会への「意見の申し出」(上記「規約」による)

◎スクールボランティア等(読み聞かせ、学習支援)

#### 〈意見の申し出〉 に関わって

- (1) 施設面で、以下のことを学校から報告し、令和5年度は「エアコンの設置」を強く要望することになりました。

#### 施設・設備等

◎電子黒板の配備 = 各学年に1台、理科室に1台

◎音楽室へのエアコンの設置(南沼原小の旧校舎から移動)

◎職員玄関オートロックの設置 今年度中に整備される予定(防犯カメラも同時に)

▼エアコンの更なる設置を要望したい

・給食配膳室 ・図書室 ・特別教室(理科室と家庭科室)

▼体育館 雨漏り箇所の修繕

令和4年度に要望した「職員玄関のオートロックの設置」は、他の要素も関わり、実現する方向で動いています。令和5年度の要望は、「エアコンの設置」となりました。

- (2) 教職員の任用については、令和4年度の「金管バンドを指導できる先生」という要望を、令和5年度も続けて要望することになりました。

#### 岐路に立つ 金管バンド

協議会としての要望は、「金管バンドを続けてほしい」というものです。が、現状、維持できるかどうか岐路に立っている状況であるということを経理から申し述べました。児童数の減少、入部希望者の減少、教員の減少(学級数減に関わり、次年度以降、教員が減り続けます)を考えたときに、これまでのような練習や出演を続けるのは困難です。

山形市内他校では、同じような状況で「廃部」という例があります。また、「地域」へ移行し、地域の方が指導者となり、地域の方もメンバーとして演奏に加わるという形で存続させているという例があります。桜田はどうしていけるか、議論し、年度内には方向を決めてお知らせします。